

第84回日本癌学会学術総会 ランチョンセミナーLS5

2025年9月25日(木) 11:50-12:40

第7会場 (ホテル日航金沢 3F 孔雀の間B)

テーマ：ロングリードシーケンスによるがん免疫研究の新展開

演題1：がんネオアンチゲンを標的とした免疫療法：
ロングリードシーケンスを用いた新規標的ネオアンチゲンの探索

演者：清谷 一馬 先生

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
難病・免疫ゲノム研究センター 難病・免疫ゲノム研究プロジェクト



Dr. Kazuma Kiyotani

座長：片山 琴絵 先生

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター シークエンスデータ情報処理分野

要旨：

がん細胞での遺伝子変異によって生じるネオアンチゲンを標的とした個別化がん免疫治療、特にがんワクチン療法や特異的TCR遺伝子導入T細胞療法は新規がん免疫治療として注目されている。実際に個別化がんネオアンチゲンワクチンの臨床試験は海外で進行している。我々も個別化ネオアンチゲンワクチンおよび複数の患者に共通するSharedネオアンチゲンを標的とした免疫療法開発を進めている。これまでの研究の多くはエクソン領域のコーディング変異に由来するネオアンチゲンを対象としてきたが、近年、非コード領域やalternative splicingにより多様な非典型ペプチドが産生されていることが明らかになってきた。ロングリードシーケンスを用いたアイソフォーム解析により、大腸がんの特異的なトランスクリプトバリエーションの網羅的探索を通して、新規のがん特異的抗原候補を探索した。従来の変異ペプチドに加え、非典型由来抗原を標的とすることで、より幅広いがん免疫療法の可能性を拓くものと考えられる。

【参加方法】

事前申し込みの方 (事前申し込み：7/8(火)～7/29にて終了済み、当日の整理券の配布は行っておりません)

※セミナー開始10分後に事前申込整理券は無効となります。

開始10分後に空席がある場合は、整理券をお持ちでない方もご入場いただけます。

【展示会場 (ホテル日航金沢 4Fホワイエ) ブース#J-29 にて
システム、アプリケーションをご案内中】

PacBio ロングリードシーケンサー：Vega / Revio System



共催：第84回日本癌学会学術総会 / トミーデジタルバイオロジー株式会社